EVシェアリング　利用していますか？

事業名：EV活用再生可能エネルギーマネジメント事業

事業の背景

・市では、120台（令和4年度当時）の公用車を運用しているが、車両の老朽化（20年～30年が経過）が進み、燃費改善や修繕費が課題になっている。

・公用車は主に平日の日中に使用されており、休日や夜間はほとんど使用されていない。

・2050年のカーボンニュートラル実現に向け、あらゆる分野で温室効果ガス排出量の削減が求められている。

事業の目的

・EVを通じた再生可能エネルギーの活用を行うとともに、EVのシェアリングを通じて、市民へ脱炭素や地球温暖化防止といった環境への意識啓発や、EVの普及促進を図る。

・災害等による停電時には非常用電源として活用することで、防災レジリエンスの強化を図る。

事業の概要

・公用車の一部をEVに入れ替える。

・民間事業者と連携し、平日夜間と土日祝日は、公用車として導入したEVを市民等に貸し出す「カーシェアリング」を実施する。

・市役所立体駐車場屋上等に太陽光発電システムを設置し、太陽光で発電した電力をEVに供給する。（余った電力は庁舎で使用する。）

・災害などの停電時にはEVから電力を供給することができる体制を整える。

EVシェアリング　利用していますか？

これまでの経緯

2022年度	2023年2月に、市役所にEVを10台導入 うち2台は公用車として利用しながら公用時間外に誰でも使えるシェアリングカーとして運用開始 市役所立体駐車場屋上に太陽光発電設備を整備
2023年度	健康福祉センターにEVを2台導入（2台をシェアリングカーとして運用） 健康福祉センター屋上に太陽光発電設備を整備
2024年度	藤沢地区センターにEVを1台導入（1台をシェアリングカーとして運用）

※健康福祉センター及び藤沢地区センターのEVは、土日祝日のみシェアリングを行っています。

事業費

・令和6年度決算額：1，259万2千円　※シェアリングカー5台に要した経費です。

（主な経費の内訳）
・車両リース料（公用利用分）：537万4千円（保険料、車両保守料等を含む）
・車両リース料（シェアリングに係る諸経費）：183万2千円（シェアリングシステム・コールセンター等の利用料）
・工事費（藤沢地区センター充電設備）525万8千円

事業の特徴

お得な利用料金！

料金は15分220円から。
たくさん使っても、ガソリンの満タン返しは不要です。

カンタンな利用方法！

利用はスマホ一つでOK！
スマートフォンアプリ『eemo』で、予約・開錠・利用・決済まで、一括管理できます。

環境にやさしい！

ＥＶの充電には太陽光パネルで発電した電力を使用しています。

災害時も安心！

災害による停電時には、避難所等で、EVの電力を利用できます。

EVシェアリング　利用していますか？

利用実績

年度	対象車両	シェアリング利用件数	EV利用によるCO２削減量 ※公用車としての利用を含む
2022年度	2台（2ヶ月の利用）	46件	1,344kg-CO_2
2023年度	4台（うち2台は1ヶ月の利用）	152件	9,641kg-CO_2
2024年度	5台（うち1台は4ヶ月の利用）	202件	10,455kg-CO_2

※1トンのCO2は、スギの木約71本が1年間に吸収できる量に相当します。

こんなことにも使っています

市のイベントでの活用

市が実施する屋外のイベントで、電源として活用しています。
・入間万燈まつり
・入間市駅伝競走大会
・集まれ！入間市ラジオ体操会
　など

市の防災訓練での活用

現在、市では市民等とのシェアリングに活用していないものを含めると、合計15台のEVが配置されています。災害等により長期間の停電が発生した時には、避難所等にＥＶを派遣し、照明や通信機器の電源として活用することを想定し、そのための訓練を実施しています。

保健所や医療機関等と連携した訓練

狭山保健所、市福祉部門、その他、難病在宅療養者の支援に関わる関係機関と連携し、人工呼吸器を装着している在宅療養児（医療的ケア児）の、災害時避難訓練を実施しました。
災害が起きた時を想定し、電源確保の方法などを確認しました。